

1 1月の人権教育への取り組み

【人権教育月別年間目標】

- ・生徒会役選をとおして物事を正しく見る目を育てよう。
- ・仲間、クラス、学年、部活動など集団の中での自分の役割を見直し、よりよい人間関係を築こう。

- 生徒会本部役員をはじめ専門委員会や学級の係が後期となる時期に、集団の中における自分の役割を改めて意識させ学校生活に取り組みさせる。
- 集団生活を充実させるためにはそれぞれが所属する学級、委員会の一つ一つが大切であることを再認識させ、互いに感謝し思いやる気持ちを大切にさせる。

【具体的な場面で】

○クラスで

- ・学級で円滑に集団生活を送るためには、各係・委員が責任を持って自分の仕事に取り組むことが大切であることを再認識させる。また、それぞれの係・委員がクラスでどのような役割を担っているかを再確認し、クラスみんなのために生徒一人一人が力を尽くしていることに気づかせる。
- ・前期の各係における仕事内容やがんばったこと、注意したこと、苦勞したこと等を後期の担当に引き継がせたい。また、該当生徒ばかりでなくクラス全体に紹介することによって、互いがクラスのために力を尽くしていることに気づかせ、感謝する気持ちを持たせる。

○委員会で

- ・後期の生徒会本部役員および各専門委員会は活動の中心が3年生から2年生に移行する。そこで、2年生に学校のリーダーとしての自覚を持たせ全校生徒のために頑張る意欲を持たせる。
- ・3年生に対しては今までの委員会活動の経験を生かし、下級生に対して助言したり、応援したりするという立場で引き続き活動させる。

○部活動で（1、2年生）

- ・文化部では友和祭が終わって1、2年生に部活動の中心が移行し、新部長を中心にした新しい人間関係の中で活動が始まる時期である。2年生に対し部活動の中心的な存在となったことを自覚させるとともに、お互いに認め合い、協力しながら今後どのように部活動に取り組むかを考えさせる。また、1年生に対してはフォロアーとしての役割を自覚させ、2年生や同級生と力を合わせて、よりよい部活動作りに意欲的に取り組ませる。
- ・下校時刻が16時40分となり、早く部活動を始め集中して取り組むことが必要とされる。そのためには共通の目標を掲げ、達成に向けて部員一丸となって活動することが大切である。仲間を思いやり、力を合わせ、時には厳しく注意し合える関係を築かせる。